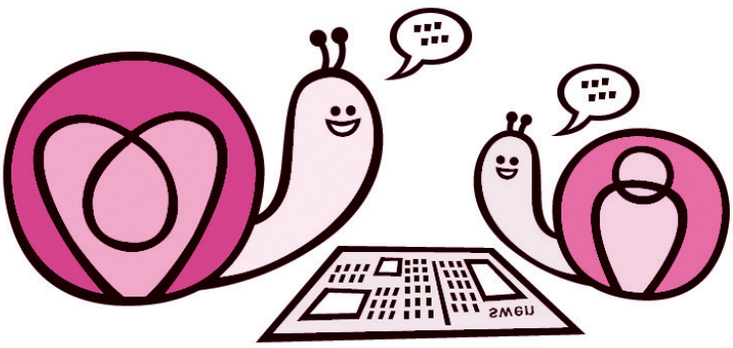
資　料　編



- 策定に関する会議等の開催状況
- 策定にあたってのヒアリング調査・アンケート結果
- 用語解説
- 策定委員会設置要綱
- 策定委員名簿
- 作業部会委員名簿

第３次地域福祉活動計画策定に関する会議等の開催状況

◇策定委員会

回	開　催　日	主 な 内 容
第１回	平成25年５月29日（水）	・正副委員長の選任について ・計画の内容、テーマ、策定スケジュールについて
第２回	12月18日（水）	・策定経過について （会議の開催状況・ワーキンググループ報告） ・地域福祉活動計画の骨子について （枠組み・計画の体系と今後検討される内容）
第３回	平成26年３月26日（水）	・第3次地域福祉活動計画（案）について

◇作業部会（全体会）

回	開　催　日	主 な 内 容
第１回	平成25年４月22日（月）	・第２次地域福祉活動計画推進について ・第３次地域福祉活動計画策定にあたって
第２回	６月３日（月）	・正副部会長、ワーキンググループ正副リーダーの選出 ・ワーキンググループでの検討
第３回	11月18日（月）	・各ワーキンググループ進捗状況について ・ワーキンググループでの検討
第４回	平成26年２月24日（月）	・第3次地域福祉活動計画（素案）について

◇作業部会（リーダー会）

回	開　催　日	主 な 内 容
第１回	平成25年８月28日（水）	・各ワーキンググループ進捗状況について
第２回	10月28日（月）	・各ワーキンググループ進捗状況について

◇作業部会（ワーキンググループ）・・・基本計画単位でワーキンググループを編成

グループ	１グループ 一人ひとりが支え合う 仕組みづくり	２グループ 福祉の心をはぐくむ 人づくり・まちづくり	３グループ 学区を基盤とした ネットワークづくり
回	開　催　日／主 な 内 容		
第１回	平成25年７月１日（月） ・南区の問題点・魅力 （課題抽出・KJ法）	７月18日（木） ・南区の問題点・魅力 （課題抽出・KJ法）	７月17日（水） ・南区の問題点・魅力 （課題抽出・KJ法）
第２回	８月５日（月） ・調査方法の検討	８月26日（月） ・課題解決案の検討	８月21日（水） ・課題解決案の検討
第３回	９月２日（月） ・課題解決案の検討	９月19日（木） ・実施計画の検討	９月13日（金） ・課題解決案の検討
第４回	10月７日（月） ・実施計画の検討	10月24日（木） ・実施計画の検討 ・アンケート内容検討	10月16日（水） ・調査方法の検討 【臨時】11月8日（金） ・実施計画の検討
第５回	12月２日（月） ・実施項目の検討	12月19日（木） ・実施項目の検討	12月17日（火） ・実施項目の検討
第６回	平成26年１月６日（月） ・実施項目の検討 【臨時】２月10日（月） ・実施項目の検討	１月30日（木） ・実施項目の検討	１月15日（水） ・実施項目の検討 【臨時】１月30日（金） ・実施項目の検討

地域のサロンにおける聞き取り調査結果

1．運営者への聞き取り結果

作業部会　ワーキンググループ
1グループ実施

子育てサロン

保健師、保育士といった専門職が毎回参加し、個別相談にものります！

①Nサロン　運営者：主任児童委員　会場：コミュニティセンター

Q１．サロンを始めたきっかけは？

もともと３学区合同で始めたが、学区に１つコミセンができたことをきっかけに独立した。お母さん同士が自由に交流するフリータイムを重視した。

Q２．サロン参加者の中で心配な人はいるか？

多動のお子さんがたまにいる。サロンに来られない人のほうが心配。

Q３．サロンに参加して欲しいが参加につながらない人はいるか？

虐待の可能性がある方に、保健所や区役所と連携して声かけした。サロンに一度参加したがそれ以降は参加していない。

Q４．以前は参加していたが参加しなくなった人はいるか？

数回のみ参加して来なくなった人もいる。子どもの年齢が大きくなると自然と参加しなくなる。

Q５．何らかの支援が必要な人が参加した場合の対応は？

支援が必要な人はサロンに来ないことが多い。民生委員や町内会長など、いろんな方と情報共有し見守っている。

Q６．参加したいが一人で来られない人への対応は？

運営者では人手不足で付き添いなどできないので、参加者同士で声をかけあってもらえるよう声かけしたい。

現役から離れたお母さんがグループ化し、現役世代を支えています。

②Wサークル　運営者：子育て中のお母さん　会場：集合住宅集会所

Q１．サークル参加者の中で心配な人はいるか？

深刻な困りごとを抱えた人はいない。気軽に子育てについてわからないことや悩みを相談しあうことはある。

Q２．サロンに参加して欲しいが参加につながらない人はいるか？

同じマンションで同世代の子どもがいる人など、会えば声掛けをして誘っている。クチコミでの周知をしている。

Q３．以前は参加していたが参加しなくなった人はいるか？

子どもが大きくなってやめていった人はいるが、それ以外に途中で来なくなった人はいない。

Q４．何らかの支援が必要な人が参加した場合の対応は？

幼稚園や病院など、地域の情報を教え合ったり子育てに関する気軽なアドバイスをし合ったりしている。

高齢者サロン

相談機関へのつなぎ役も果たします！

①Sサロン　運営者：民生委員・元民生委員　会場：ひまわりハウス

Q１．サロンを始めたきっかけは？

ボラ連会長に民生委員の例会でサロン設立を勧められたため。ひまわりハウスの利用用途の一つとして民生で何かやりたいと思った。独居高齢者を訪問した際、花の工作が得意な方がいたのでその方に活躍してもらう場として創花工芸をテーマにしたサロンとした。

Q２．サロン参加者の中で心配な人はいるか？

独居の方が心配。何度も同じことを教えてもすぐ忘れてしまう人もいる。

Q３．以前は参加していたが参加しなくなった人はいるか？

認知症のうたがいのあった人は自分からやめてしまった。脚が悪くなり一人で来られなくて休んでいる人がいる。工作が難しく、数人が一度にやめたこともある。

Q５．何らかの支援が必要な人が参加した場合の対応は？

希望があれば車いすで連れに行ったりはできる。しかし会場の構造上、段差があるので事故の危険もあり勧められない。介護保険やいきいき支援センターにつなぐことが多い。

Q６．参加したいが一人で来られない人への対応は？

参加者同士でサポートして連れ添ってくる人もいる。給食会、はつらつクラブ、健康教室などでお誘いしている。

認知症の方も一緒に楽しめる工夫をしています！

②Mサークル　運営者：ボランティア　会場：喫茶店跡地

Q１．サロンを始めたきっかけは？

自宅で１１年前に立ち上げ。南区でデイサービスをつくる会の一端として開始した。のちに現在の会場へ移転。

Q２．サロン参加者の中で心配な人はいるか？

認知症の方が二人いる。

Q３．サロンに参加して欲しいが参加につながらない人はいるか？

独居の方が心配。声かけしても来てもらえない。外出しない人こそ来て欲しい。

Q４．以前は参加していたが参加しなくなった人はいるか？

脚が悪くなったり、認知症になって来なくなった方もいる。来たいという希望があれば来て欲しい。

Q５．何らかの支援が必要な人が参加した場合の対応は？

認知症の方へは、否定せず話を聞いて受け入れている。ゲームをする時など、ボランティアが隣に寄り添って手伝いをして、みんなで一緒に参加できるようにしている。最初から軽い認知症のある人がいたが、受け入れた。

Q６．参加したいが一人で来られない人への対応は？

運営者が車で送り迎えしている。近くに住む方なら、付き添いも可。

共生型サロン

毎回約60人が訪れる、交流が生まれるサロンです！

Ｙサロン　運営者：民生委員・ボランティア　会場：社務所

Ｑ１．サロンを始めたきっかけは？

研修で古民家サロンを伺い、地域の役に立てるかと思って始めた。「どうせなら、高齢者だけでなく、地域ひっくるめて見守れるサロンがいい！」と思い、このかたちになった。

Ｑ２．サロン参加者の中で心配な人はいるか？

民生委員の見守り対象の方が遊びに来ている。サロンに来られないと心配で見に行っている。

Ｑ３．サロンに参加して欲しいが参加につながらない人はいるか？

「知り合いがいない」と言って出てこない方や、きっかけがつかめずに来られない方もいる。

Ｑ４．以前は参加していたが参加しなくなった人はいるか？

中にはいるが、這ってでも来る人や家族に連れてきてもらう人もおり、本人の「行きたい」という気持ち次第。

Ｑ５．何らかの支援が必要な人が参加した場合の対応は？

スタッフがサポートするよりも、知り合った人・友達同士で声をかけてくれるような関係になってほしい。

こういう場がなくても交流やつながりがあること、この場が必要なくなることの方が嬉しい。

２．参加者への聞き取り結果

①子育てサロン

・赤ちゃん訪問の際、保健師に勧められた。近所のおばあさんに紹介してもらって参加した。
・引っ越してきたばかりで知り合いがおらず、サロンに参加して助けられた。
・熱や離乳食など、気になることを保健師さんに相談できてよかった。
・まだサロンに参加していない人が近所にいたら、声をかけたいと思う。
・ＯＧの方がボランティアグループとなり活動しているので、自分も子どもが大きくなったら現役ママの力になりたい。

②高齢者サロン

・地域のふれあいがなく寂しかったが、サロンへ参加して友達ができ、生活に会話が増えた。地域に知った顔が増えた。
・今までは家でぼーっとしているだけだったが、顔見知りも増えて話す相手ができ、不安解消できた。
・サロンでは自己実現ができる。
・休みがちになっている人がいると心配。一人で参加できない人がいたら声をかけて一緒に行きたい。

③共生型サロン

・民生委員に元気だと顔を見せるために来ている。外で会っても話すようになった。
・参加するようになって、友達が増えたし、不安解消になっている。

「ここバリすぽっと」に対するアンケート結果

作業部会　ワーキンググループ
２グループ実施

平成25年10月末現在認定の全102ヵ所の「ここバリすぽっと」に対し実施。

回収数	49

回収率	48.0%

Q１．ステッカー・認定書は、掲示していただいていますか？

	ヵ所	%
はい	44	89.8%
いいえ	5	10.2%

掲示場所は、事務所内との回答が１ヵ所あったが、他は入口ドア、店頭、玄関、レジ付近など、見やすいところに掲示されている様子。
また、紛失等され、現在所在がわらない所もあった。

Q２．「ここバリすぽっと」としての利用状況はどのくらいですか？

	ヵ所	%
よくある	2	4.1%
たまにある	10	20.4%
ほとんどない	17	34.7%
全くない	20	40.8%

「お買物の手伝い」「椅子に座りよく話をする」「トイレ使用」「事業所が複数入っているため様々な方が来所する」「会社見学等でチャレンジドの雇用についての理解拡大を進めています」「車いすの利用者等」　など

Q３．「ここバリすぽっと」になって変化や良かったことはありますか？

	ヵ所	%
ある	6	12.2%
特にない	42	85.7%
無回答	1	2.0%

「意識が常にある」「ここバリを知っている方が、『ここもそうなんだ』と言ってくれました」「意識が変わった」「お客様が説明を聞いてくる。プラスになっている。」「老人が多いので手を貸すようにしています。」　など

Q４．「ここバリすぽっと」として、特別意識されていることはありますか？

	ヵ所	%
ある	18	36.7%
特にない	30	61.2%

「押し車の方に声を掛ける」「気くばり」「ご本人ができることは手を出さない」「みんなが過ごしやすいよう心掛けています」「歩道まで見送りまたどうぞ気を付けてくださいと」「年配の方が多いので、入口に段差があるので注意している」「いつでもだれでもどうぞと思っている」「普通に応対、特別な応対はしない」「障がい者のための通所施設ですので、ｽﾎﾟｯﾄとして利用される方には、押しつけでない心地良い対応を心掛けたい」「広く戸を広げていたい」「福祉事業を行っているため意識はできている」「施設ですが、来ていただいている方には丁寧に対応させていただくように心がけている」「お年寄りに対しての食事の注意」「お年寄りや子どもにやさしく」「店にイスを置いて休んでいただいている」「１人ぐらしのお客様など、声かけするようにしている」「できるだけみなさんにあいさつをする」　など

Q５．「ここバリすぽっと」の認定箇所同士での交流会や研修会等あれば、日程等の都合があえば、参加されたいですか？

	ヵ所	%
はい	18	36.7%
いいえ	30	61.2%
無回答	1	2.0%

は　い→「研修会」「近隣の集り」「何をといわれると、特にイメージがありませんが…」
いいえ→「家で父母の介護をしている為」「店番のため出席できない」「参加したいが、店があるから」

Q６．福祉情報等の発信拠点として、各種福祉イベントのちらしなどを店頭等で配布協力していただけますか？

	ヵ所	%
はい	37	75.5%
いいえ	8	16.3%
無回答	4	8.2%

Q７．「ここバリすぽっと」をもっと広めていくにはどのような方法が考えられますか？

「「ここバリすぽっと」という言葉や意味を、わかりやすく伝えることが大事（小学生とか）」
「利用者に活動の趣旨の浸透を計る」「SNS の活用」
「町内会の回覧などで、ここバリすぽっとのことを知ってもらうこと。」
「選挙時に配るしおり等にＰＲ記載」「新聞チラシの投函（加盟店一覧と紹介を載せたチラシ）」
「うーん、意義を説明する機会がほしい。」
「地道に定期的に広報していく、地域の広報誌の活用等」
「ミニコミ紙「伝言板」による告知協力、利用してほしい人に限定した利用促進イベント」
「ここバリすぽっとの認定の店舗対象の割引クーポン等がついているチラシを配る等、店側客側のメリットが出る取り組みをすれば広がっていくのでは？」「協力店舗など理解をしてもらう」
「認定店（施設）がどこにあるか、どこが認定されているのかがわかりにくい」
「南区フリモ等、フリーペーパーの活用」「大々的に宣伝が必要」「サービス内容を絞った方が、利用者に理解されやすいのではと感じる」
「近所の喫茶店が集いの場所になっていますが、若い方の集いの場がないので残念です。若い人がお店を開くと、自然とそうなると思います。」 など

Q８．「ここバリすぽっと」を広げていくにあたって、ご紹介していただける店舗・施設等はありますか？

	ヵ所	%
はい	2	4.1%
特にない	40	81.6%
無回答	7	14.3%

Q９．「ここバリすぽっと」だけでなく、何か福祉などに関するご意見等ございましたらご自由にお書きください。

「区社協の広報誌にサービス利用者が編集に参加するようなコーナーはつくれないでしょうか？」
「子ども 110 番のように、ほとんどの店が協力してくれるように願う。大型店には相談相手なく、不自由な方がよくみえるので、相手をしています。」
「よりよい南区になっていくよう協力しますので、何でもいってください」
「店内にイスが沢山あるので、ちょっと休ませて…と、座っていかれる方あり」
「自分自身も高齢となり、またケガ等して気持ちがよくわかる（さみしい、つらい）」
「「よりゃーせⅡ」みたいなところを作りたい。」
「さわやかウォークの開催等、障害者福祉の交流の場を持っていただくなど、日頃の活動にとても感謝しております」
「あまりご協力できず申し訳ありません。できることがあればお声掛けください」
「利用する人のニーズは実際どんな事であったのか知りたい」
「今、店の前で子どものアートスペースとしてやっていこうと思っています（空き店舗があるので）。」など

地域福祉推進協議会に対する聞き取り取材調査結果

作業部会　ワーキンググループ
３グループ実施

平成25年10月下旬、事務局と作業部会委員で区内２学区の地域福祉推進協議会（以下：推進協）の役員に、実態に関する聞き取り調査を行いました。

Ｑ１．特色のある事業、活動はありますか？

- 異世代や障がい者が参加する福祉スポーツ大会
- 障がい者も参加する防災訓練
- 独自の見守りをしている学区の診療所（地域と医療の協働）
- 喫茶形式の高齢者サロンや他学区と合同で行う子育てサロン
- 高齢者健康教室
- 高齢者と小学生のふれあい給食会
- 子どもも参加する緑のまちづくり会

Ｑ２．今後取り組みたい事業はありますか？

- ふれあいネットワーク活動や防災マップ作り、災害時要援護者名簿作り
- 運動会など、障がい者の地域行事への参加
- 災害時の助け合いのため、学校との協力体制の構築
- 様々な団体のサロン活動への参加

Ｑ３．見守り活動について課題はありますか？

- 地域の各団体の連携が必要。
- 社会福祉協議会、いきいき支援センター、推進協の連携が必要。
- 民生委員に負担が偏ってしまう。
- 見守り拒否の高齢者への支援
- 買い物難民が多い。
- 学区内の障がい者の把握の難しさ。
- 町内会に入っていない人への支援
- 地域住民への同意書作り
- 地域の医療施設との連携

Ｑ４．推進協の認知度についてどう思いますか？
また認知度を高めるためにはどうすれば良いと思いますか？

- 学区連絡協議会等、他の団体と区別がつきにくい。
- 一般の住民の認知度は低い。
- 社協の広報を、もっと効果的なものにできると良い。
- 推進協事業を行う際に、もっと推進協の名をPRしたい。
- 学区全体の意識を変えるようなPRができれば。
- 民生委員、区政協力委員が協力して推進協事業を行うことで、認知度をあげたい。

Ｑ５．推進協研修や交流会について何か要望等はありますか？

- 意見交換の場としてあっても良いが活動が活発でないので、必要性はあまり感じていない。
- 必要ならば他団体とつながりたいが、まずは自分たちの活動の向上をしていきたい。
- 進んだ学区の取り組みを知りたいので、研修会等をぜひ開催してほしい。
- 他学区の活動を見学したり、交流したい。

用語解説

用　　語	説　　明
いきいき支援センター（地域包括支援センター）	保健師等、主任介護支援専門員、社会福祉士が配置され、地域住民の心身の健康維持や生活の安定、保健・福祉・医療の向上、虐待防止など高齢者を支える総合機関です。 名古屋市には29ヵ所のセンターがあり、区内には南部・北部に2ヵ所のセンターがあり、北部には分室が１ヵ所あります。
学区連絡協議会	住民相互の交流を図り、連帯を高めることを目的として、学区内の様々な団体の代表等で構成された協議組織です。小学校単位に設置され、学区におけるコミュニティ活動の中心的な役割を担っています。
活動計画推進サポーター会（サポーター会）	本会活動計画の進行状況の確認や計画実施への協力など、計画を推進するために第１次活動計画の実施項目の一つとして設立。第３次活動計画においても引き続き、計画策定に携わった方を中心に計画を推進する大きな役割を担う組織です。
区政協力委員	町内会・自治会を単位に選出され、住民と行政とのパイプ役として市長から委嘱されています。行政からの情報を住民に伝達し、住民の市区に対する意見を行政に反映させるための名古屋市独自の制度で、安心安全で快適なまちづくりをはじめとした市民活動の推進役としても活動しています。
ここバリすぽっと	本会では、制度や設備といった「バリアフリー（高齢者や障がい者などの生活に不便な障害を取り除こうという考え方）」だけでなく、心理面からの「バリアフリー」を常に意識していこうと「心のバリアフリー」をキーワードに活動しています。 この「心のバリアフリー」活動を推進していくために協力いただいている店舗（施設）を「ここバリすぽっと」として認定しております。（平成26年３月末時点103ヵ所）
災害ボランティア	行政・関係機関やボランティア団体と協力し、災害による被災者への救護・復興支援や住民の防災意識の啓発などを行うボランティア団体。区内では、平成18年2月に「名古屋みなみ災害ボランティアネットワーク」が設立し、活動を広げており、災害時などには本会とともに災害ボランティアセンターの運営も行います。
サポートバンク	第1次活動計画の実施項目の一つとして、区内の人材や場所などの社会資源情報を集約したもの。ボランティア活動者（団体）、子育て・高齢者サロン、障がい児者施設などの情報を発信し、社会参加促進のサポートを目的としています。
賛助会員	本会の事業にご賛同いただいた区民の皆様や企業などの法人に賛助会員となっていただいています。賛助会員の皆様からいただきました賛助会費によって区内の福祉活動を推進しています。

用　　語	説　　明
障害者基幹相談支援センター	これまで、障害種別で相談窓口が分かれていた障害者地域生活支援センターが、平成26年４月より、窓口を一本化して新たに開設した相談機関です。 区内では、寺部通の本センターと西桜町のサテライトがあります。
障害者自立支援協議会	地域に暮らす障がいのある人たちが、その人らしく地域の中で豊かに暮らせるよう、障がい福祉の関係機関・団体が協力し、障がい児・者福祉の向上を目指して、障害者自立支援法の規定に基づいて設置された組織。区内では、平成19年12月に設立されました。
地域福祉推進協議会（推進協）	すべての住民が安心して暮らせる福祉のまちづくりを目的に、学区区政協力委員（町内会長）、民生委員児童委員、その他各種団体が協働して、住民が主体的に取り組む組織として小学校区を単位に設立されている団体です。名古屋市社会福祉協議会・区社会福祉協議会が支援を行い、現在市内すべての小学校区で組織されています。
ふれあいネットワーク活動	地域福祉推進協議会が行っている事業の一つで、地域で暮らす支援を必要としている人のために、隣近所の人たち数人が協力して「見守り」「助け合い」「福祉サービスの橋渡し」を行いながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりをすすめる活動です。
南区在宅サービスセンター	福祉活動を推進し地域福祉の発展を目的に、南区役所庁舎４階・５階部分を南区在宅サービスセンターとしています。 本会では、このセンターを運営し、ボランティアをはじめ、区内の福祉団体等に対し、センター内の研修室、調理実習室、ボランティアルーム、点訳室、録音室の無料貸し出しを行っています。 また、菊住学区には「ひまわりハウス」という２階建ての建物（民家）を所有し、こちらでも福祉団体等に貸し出しを行っています。
みなみ子育てネット	平成18年10月に設立した、区内の子育てサロン・サークル、子育て支援団体等による、子育て支援ネットワーク。子育てに関する情報誌の発行、子育てサロンへの支援や講座の開催など、子育て家庭への支援を行っています。
民生委員・児童委員	住民の抱える福祉に関する様々な困りごとに対して、地域の身近な相談役として活動するボランティアで、厚生労働大臣から委嘱されています。 また、民生委員・児童委員の中から子どもや子育てに関する支援を専門に担当する主任児童委員が選任され、民生委員・児童委員と連携しながら子育て支援等に取り組んでいます。

社会福祉法人名古屋市南区社会福祉協議会
第３次地域福祉活動計画 策定委員会設置要綱

（目的）

第１条　社会福祉法人名古屋市南区社会福祉協議会（以下「区社協」という。）が、第２次地域福祉活動計画に続き、南区内において推進する地域福祉活動の指針となる第３次地域福祉活動計画（以下「第３次活動計画」という。）を策定するために、区社協に第３次地域福祉活動計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

（協議事項）

第２条　策定委員会は、区社協の第３次活動計画の策定に関する事項について協議する。

（組織）

第３条　策定委員会は、次の各号に属する策定委員26名以内で構成し、区社協会長が委嘱する。

（１）区社協理事

（２）学識経験者

（３）作業部会の代表

２　策定委員会に委員長1名及び副委員長を若干名置き、策定委員の互選により選出する。

３　委員長は、策定委員会を代表し、会務を掌理する。

４　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長に指名された副委員長がその職務を代理する。

（作業部会）

第４条　第３次活動計画の策定に関し、必要な資料の収集、調査及びその他各種の研究を行うために策定委員会のもとに作業部会を設置する。

２　作業部会の部会委員は、次の各号に属する者の中から区社協会長が委嘱する。

（１）学識経験者

（２）公募委員

（３）関係行政職員

（４）社会福祉施設職員等

３　作業部会に部会長１名及び副部会長若干名を置き、部会委員の互選により選出する。

４　部会長は、作業部会を代表し、会務を掌理する。

５　副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、あらかじめ部会長に

指名された副部会長がその職務を代理する。

6　作業部会の中にテーマごとのワーキンググループを設置する。

（任期）

第５条　策定委員及び部会委員の任期は、活動計画の策定をもって終了する。

（会議）

第６条　策定委員会及び作業部会の会議は、委員長及び部会長が招集し、議長となる。

2　策定委員会及び作業部会は、必要に応じて関係者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

（庶務）

第７条　策定委員会及び作業部会の庶務は、区社協事務局において処理する。

（雑則）

第８条　この要綱に定めるもののほか必要な事項は、区社協会長が別に定める。

附　則

この要綱は、平成25年１月１日から施行する。

第３次地域福祉活動計画 策定委員名簿

区　分	所　属　・　役　職	氏　　名
区社協理事	南区区政協力委員協議会議長	◎浅　見　吉　郎
	南区区政協力委員協議会副議長	○伊　藤　英　郎
	千鳥学区区政協力委員会委員長	相　原　邑　子
	民生委員児童委員連盟南区支部支部長	○上　田　行　雄
	民生委員児童委員連盟南区支部副支部長	桒　原　　亨
	民生委員児童委員連盟南区支部監事	野　間　秀　一
	南区保育協会副会長	近　藤　敏　矢
	南区老人クラブ連合会会長	杉　山　睦　夫
	南区子ども会連絡協議会名誉会長	髙　木　光　男
	南区ボランティア連絡協議会会長	武　田　美和子
	南区保健委員会会長	浅　野　鉄　夫
	南区地域女性団体連絡協議会会長	井　伊　ヨシ子
	南区医師会会長	伊　藤　　剛
	南区歯科医師会会長	今　井　　力
	南区薬剤師会会長	中　村　純　子
	南区役所区民福祉部長	溝　口　祐　次
学識経験者	日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科 准教授	○丹　羽　啓　子
作業部会の代　表	調理ボランティアひまわり代表	中　川　啓　子
	ゆたか作業所所長・南障会事務局長	佐　藤　正　章
	南区手をつなぐ育成会会長	濱　田　智恵実

◎…委員長、○…副委員長（順不同、敬称略）

第３次地域福祉活動計画 作業部会委員名簿

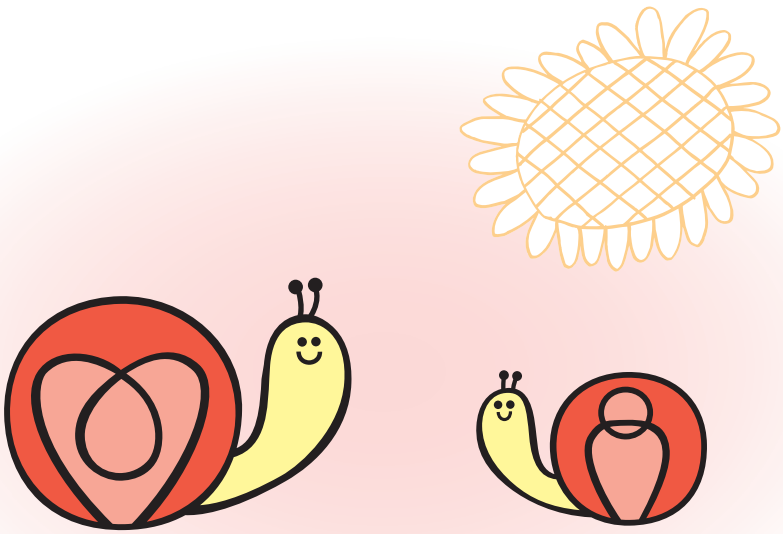
	氏　　名	所　属　・　役　職	
（1グループ）一人ひとりが支え合う仕組みづくり	石川　拓眞	大学生	公募委員
	天野　宏道	経営コンサルタント	公募委員
	○稲田　　博	ボランティア（南医療生協・キリスト教社会館）	公募委員
	赤尾　輝之	菊住学区区政協力委員会	公募委員
	◎中川　啓子	調理ボランティアひまわり	2次計画推進サポーター
	小林　勝義	ボランティア	2次計画推進サポーター
	江尻　　覚	障害者活動センターねーぶる	2次計画推進サポーター
	片山　丈夫	前・道徳学区区政協力委員会委員長	2次計画推進サポーター
	浅野　邦博	南児童館	2次計画推進サポーター
	薮下　真利	南区役所福祉課福祉係長	2次計画推進サポーター
（2グループ）福祉の心をはぐくむ人づくり・まちづくり	才野　良子	ボランティア（筝尺八桐一葉）、鯱城学園高年大学在学生	公募委員
	浅田　光明	ボランティア（みなみ文化日本語の会）	公募委員
	丸田　尊峰	行政書士	公募委員
	○福原　伸二	ボランティア（紙芝居など）	公募委員
	畑　　広美	ボランティア（高齢者疑似体験インストラクターもみじ）	公募委員
	後藤　加代子	地域子育て支援センター（宝保育園）	2次計画推進サポーター
	水野　まゆ美	子ども家庭支援センターさくら・みなみ子育てネット	2次計画推進サポーター
	加藤　好美	地域子育て支援センター（菜の花保育園）	2次計画推進サポーター
	◎佐藤　正章	ゆたか作業所	2次計画推進サポーター
	（長島　年二）	大同特殊鋼（株）	2次計画推進サポーター
	鬼頭まり子	南保健所保健予防課保健看護担当主査	2次計画推進サポーター
（3グループ）学区を基盤としたネットワークづくり	○福井　志保	ろばのこ療育園	公募委員
	吉田　富江	地域住民	公募委員
	早川　典夫	星崎消防団	公募委員
	安井　勝彦	豊田民生委員児童委員協議会会長	公募委員
	廣瀬　敏郎	名古屋みなみ災害ボランティアネットワーク	2次計画推進サポーター
	佐治　戸孟子	日本ボーイスカウト愛知連盟スタッフ・災害ボラ	2次計画推進サポーター
	飯尾　成生	地域住民	2次計画推進サポーター
	原　　和美	みなみ家族会	2次計画推進サポーター
	阿隅　貴臣	南区障害者地域生活支援センターなごみ	2次計画推進サポーター
	◎濱田　智恵実	南区手をつなぐ育成会	2次計画推進サポーター
	小川　　徹	笠寺福祉会館	2次計画推進サポーター
	安達　博茂	南区役所民生子ども課民生子ども係長	2次計画推進サポーター
	☆丹羽　啓子	日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科 准教授	学識経験者

☆…部会長　◎…グループリーダー　○…グループ副リーダー（順不同、敬称略）

区民の皆さまが暮らしやすい南区のために…

社会福祉法人 名古屋市南区社会福祉協議会（南区社協）は、社会福祉法に基づき、社会福祉の推進を図ることを目的として組織された民間の団体です。

誰もが安心して暮らせる住民主体の福祉のまちを目指し地域福祉事業を実施しています。



まいまい　南区社協 シンボルキャラクター　あいあい

社会福祉法人　名古屋市南区社会福祉協議会

〒457-0058　名古屋市南区前浜通3丁目10番地
南区役所庁舎4階
TEL（052）823-2035　FAX（052）823-2688
Eメール　minamiVC@nagoya-shakyo.or.jp
ホームページ　http://www.minamiku.net/shakyo

ブログもあります。社協ホームページの入口から、又は右記のQRコードで。

スマートフォン用　携帯電話用

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。